

SEKISUI

CSRレポート(環境)2023

SEKISUI

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

九州積水工業(株)はSDGs実現に取り組みます。



再生エネルギー活用100%を目指しています。

再生使用

FY20

FY21

FY25

FY30

5%

20%

50%

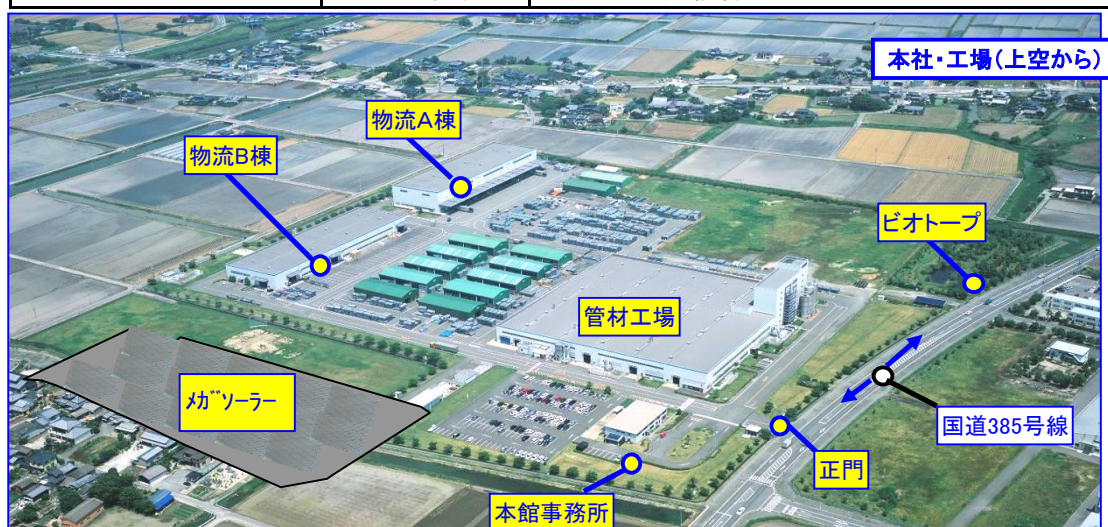
100%

九州積水工業株式会社



事業所概要

会社名	九州積水工業株式会社		
所在地	佐賀県神埼市千代田町柳島225-1		
主要製品	硬質塩化ビニル管・継手		
従業員数	96名（2023年4月）		
施設関連（㎡）	敷地面積	生産施設面積	環境施設面積
	158,873	17,291	43,303
工場の歩み	1963年	鳥栖市に設立	
	1964年	日本工業規格（JIS）表示認定	
	1975年	セキスイハイムの組立加工業務開始	
	1980年	FRP複合パイプ（タフポール）生産開始	
	1989年	TPM活動開始	
	1997年	西日本セキスイ工業（株）分社 千代田に新工場建設移転	
	1999年	ISO9002認証取得	
	2000年	ゼロエミッション達成 ISO14001認証取得	
	2001年	ビオトープ開園式	
	2002年	OSHMS本社認証取得 ISO9001（2000年度版）移行認証取得	
	2005年	ISO14001（2000年度版）移行認証取得	
	2006年	佐賀労働局長表彰『優良賞』受賞	
	2007年	（社）佐賀県労働基準協会表彰「無災害事業所（5年間）」受賞	
	2008年10月	サンエス千代田株式会社の組織を九州積水へ統合 平成20年度緑化優良工場表彰『財団法人日本緑化センター会長賞』受賞	
	2012年10月	日本ガス協会/GPP（ガス用ポリエチレン管）認証取得	
	2013年10月	配水用ポリエチレン管JWW認証取得	
	2013年12月	通信会社向け通信立上管生産開始	
	2013年12月	メガソーラー稼動（発電容量 1,402Mwh/年）	
	2014年3月	建材用カラーパイプ・カラー継手生産開始	
	2016年8月	建材用UVストロングパイプ・継手生産開始	
	2018年1月	ポリエチレン管生産～梱包ライン近接化	
	2020年1月	会所マス生産移管	





2023. 4. 1

九州積水工業(株) 環境方針

九州積水工業株式会社
代表取締役社長 坪井康太郎

九州積水工業は、企業活動を通じ、「環境」という側面を常に考慮し、事業と環境の調和を目指した持続可能な社会の実現に向けてよりよい「環境経営」を実践していきます。

1. 企業活動を行う上で、リスク及び機会を考慮し、環境影響評価を行い、その結果に基づき戦略的な環境目的・目標を定め、見直しを行いながら、継続的改善と環境汚染の予防に努めます。
2. 抜本的な廃棄物排出の「抑制」と「回収」へ技術の強化を行い、3Rからサーキュラーエコノミー(資源の循環)を急務に環境負荷への軽減に努めます。
3. 地球資源に限りがあることを認識し、効率的な使用、削減に努め省エネルギー活動、再エネ促進に取り組みます。
4. 生物多様性や気候変動・水リスクに配慮した事業活動を行うとともに、自然環境保護活動に取り組みます。
5. 当社は、下記の項目に重点的に取り組み、環境汚染の予防を推進すると共に環境マネジメントシステムの継続的改善に努めます。

- 1) 廃棄物削減とリサイクル推進 廃棄物原単位削減 22年度比 1%削減
- 2) 省エネ・省資源の推進 CO2原単位削減 22年度比 20%削減
- 3) 資源循環の推進 マテリアルリサイクル率 22年度比 1%向上
- 4) 地域貢献活動、環境貢献製品の開発・推進
- 5) 環境汚染の予防

以上の方針をより確実にするため、次の事項を実施します。

- 1) 環境方針達成のため環境目標を設定し、行動計画を策定、実施し定期的にその達成度の評価のレビューを行います。
- 2) この環境方針を全従業員に周知します。
- 3) この環境方針は、外部からの要求に応じ入手可能とします。



2022年度の環境目標と実績

	目 標	目標値	実績値	評価
省エネルギー	1. 炭酸ガスの排出量の削減 生産量原単位を2016年度比で3.0%削減する。	生産量原単位 2021年度の1.0%削減	1.3%増加	×
廃棄物	1. 廃棄物の発生量の削減 生産量原単位を2018年度比で30.0%削減する。	生産量原単位 2021年度の1.0%削減	6.7%減少	○
	2. 廃棄物の分別徹底と適正処理を100% 維持管理する。	適正処理100%	適正処理 100%	○
環境保全	1. 浄化槽水質の管理 浄化槽設備の保全・保守を定期的実施し、 法定水質検査を受けて、水質の維持管理に努める。	検査項目の規制内値の 維持(4項目)	4項目すべて規 制値内	○
	2. 積水化学のグリーン購入ガイドラインに沿った 事務用品の購入を行う。	グリーン購入率 95%以上	グリーン購入率 92.3%	×
自然保護	1. 事業所ビオトープを連活用し、地域住民と共に 自然保護活動を実施する。	「ビオトープ観察会」等 年1回以上	1回実施	○
	2. 事業所ビオトープを活用し、定期的な手入れ作業を 実施し、従業員の自然保護意識の高揚を図る。	手入れ作業実施 年4回以上	4回実施	○
化学物質	1. PRTR法に基づく「第1種指定化学物質」の 排出量・移動量の管理と低減	生産量原単位 2021年度の1.0%削減	10%減少	○

■PCB使用機器の適正処理を実施

PCB使用機器を国の指定する機関(『日本環境安全事業株式会社』)にて、適正に処理しました。



環境負荷概要

INPUT

原 材 料

エネルギー・水

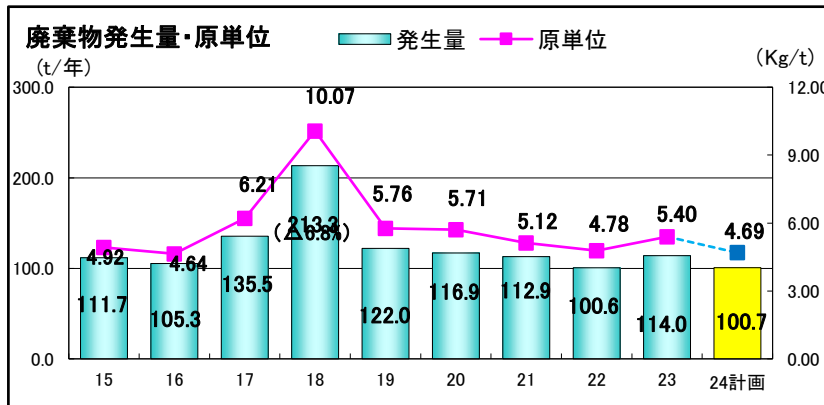
電気	10,643 MWH/年
重油	— KL/年
軽油	47.4 KL/年
ガソリン	2.3 KL/年
灯油	0.7 KL/年
LPG	0.94t/年
地下水	242,640t/年

OUTPUT

排気ガス	SOx(硫黄酸化物)	—
	NOx(窒素酸化物)	—
	CO2(炭酸ガス)	2,540 t/年
PRTR対象	有機錫化合物	2.3 Kg/年
	スチレン	246.0 Kg/年
	鉛及びその化合物	Kg/年
廃棄物	産業廃棄物	114 t/年
	一般廃棄物	—
	リサイクル率	92 %



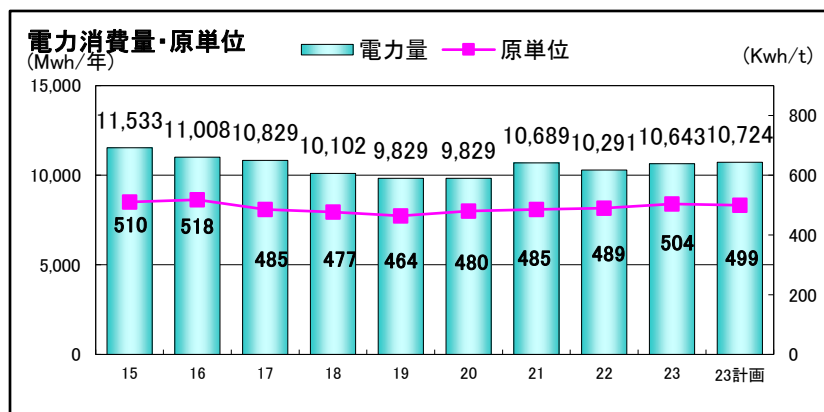
重点活動項目の実績推移



○ 廃棄物が一時的に増えたことにより目標達成となりました。

(10年度より管理目標を『原単位』へ変更しています。)

$$\text{原単位} = \frac{\text{廃棄物発生量 (Kg)}}{\text{生産量 (t)}}$$

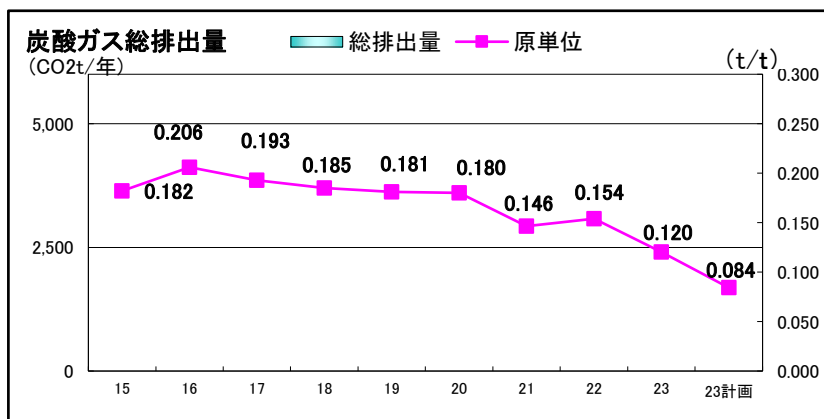


○ 節電プログラム等実施しましたが大型省エネ投資が少なく目標未達でした。

(10年度より管理目標を『原単位』へ変更しています。)

$$\text{原単位} = \frac{\text{電力使用量 (Kwh)}}{\text{生産量 (t)}}$$

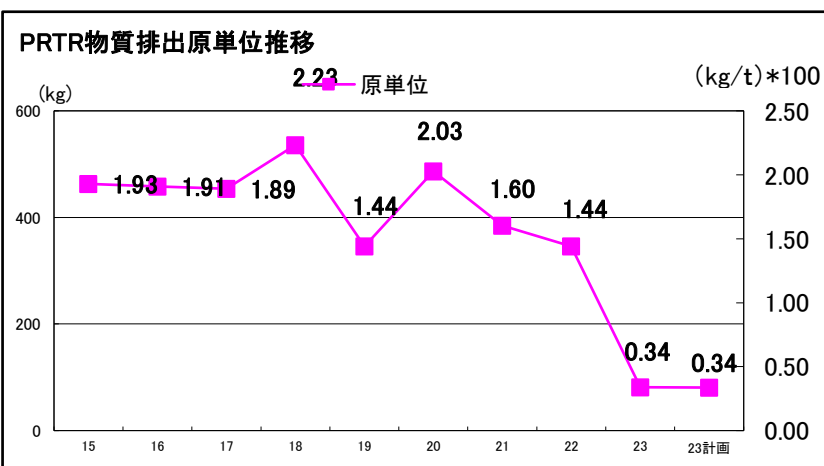
※換算値です。



○ 24年度は再エネ比率を30% 上乗せし70%とします。2030 年までに再生エネルギー活用 100%を目指します。

(10年度より管理目標を『原単位』へ変更しています。)

$$\text{原単位} = \frac{\text{炭酸ガス排出量 (t)}}{\text{生産量 (t)}}$$

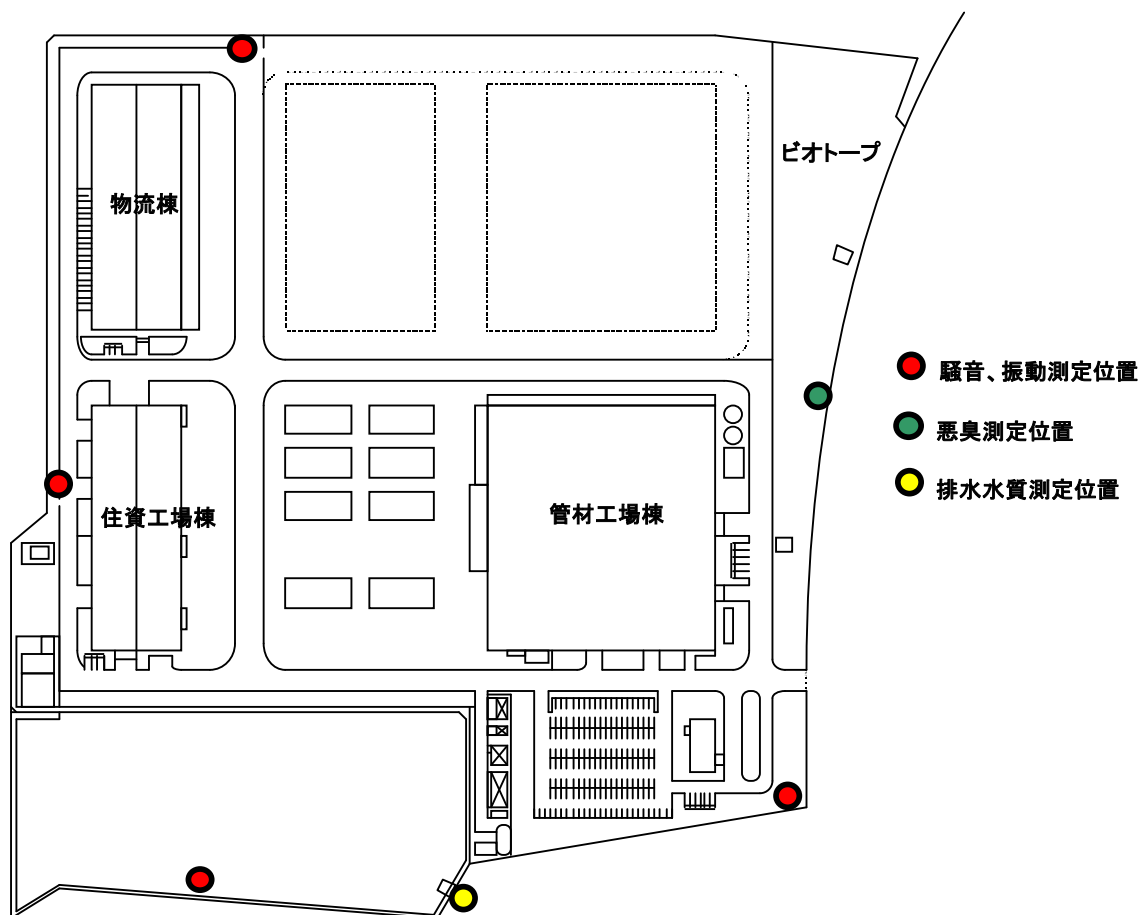


○ PRTR対象化学物質の2018年度活動として、場内リサイクルの徹底を図っていきます。2023 年法改正により鉛化合物が対象外となりました。VOC対象のスレンも複合材部門の生産効率向上により削減に貢献していきます。

(10年度より管理目標を『原単位』へ変更しています。)



法規制項目測定位置及び測定データ

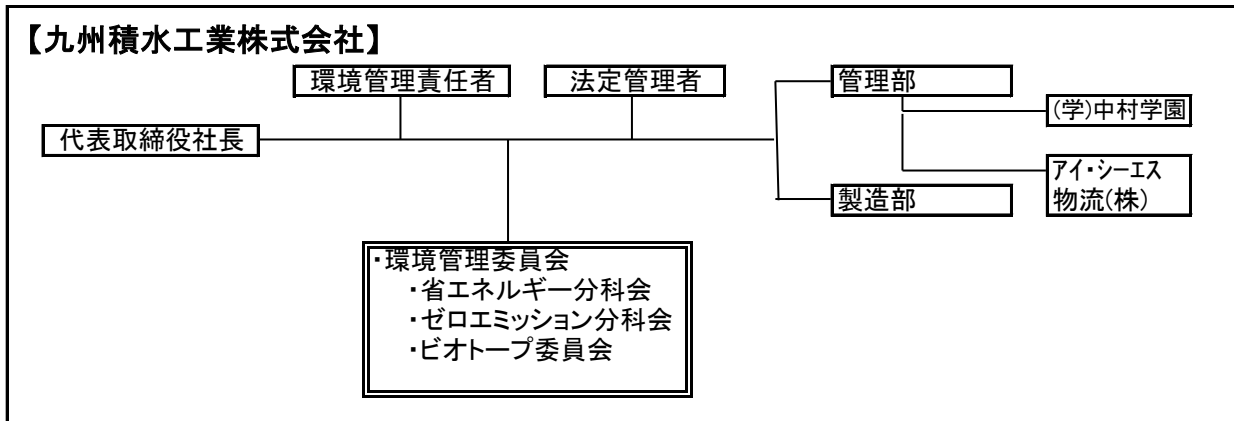


測定日2023年12月25～26日

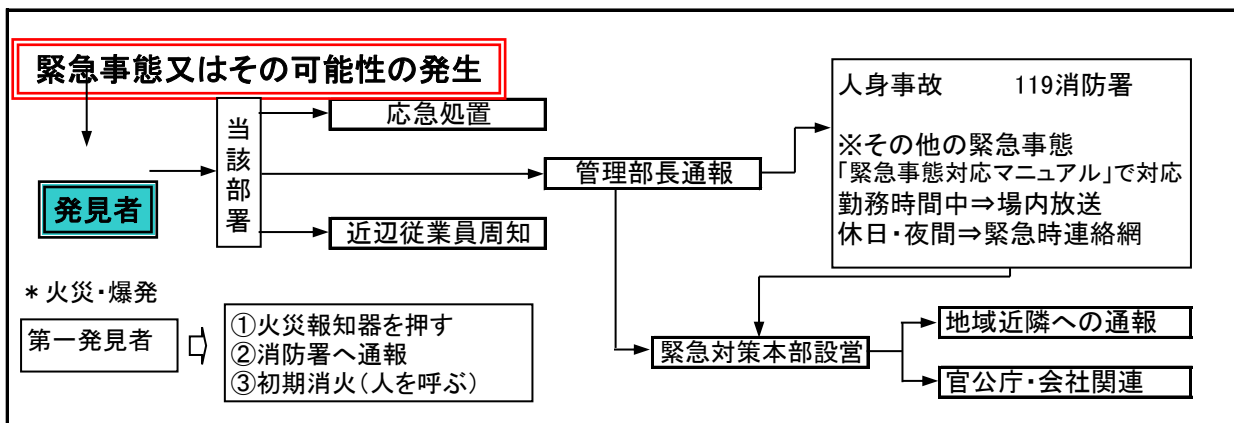
	規制法	項目	対象	要求事項	単位	法規制	条例	実績(最大値)	評価
水質	水質汚濁防止法	排水基準	工場排水	pH(水素イオン濃度)		5.8～8.6	5.8～8.6	8.0	○
				BOD(生物化学的酸素要求量)	mg/L	160	160	1.5	○
				SS(水中懸濁物質)	mg/L	200	200	1	○
				Pb(鉛)	mg/L	0.1	0.08	0.01未満	○
騒音	騒音規制法	敷地境界騒音	空気圧縮機 射出成型機 送風機	朝、夕	dB	50	50	47	○
				昼	dB	60	60	49	○
				夜	dB	50	50	45	○
振動	振動規制法	敷地境界振動	空気圧縮機 射出成型機	昼	dB	60	60	47	○
				夜	dB	55	55	25未満	○



環境管理体制



緊急事態対応体制



2023年度の環境目的・目標

目 的		目標値
省エネルギー	1. 二酸化炭素の発生量抑制の為、省エネルギーの方策をたて継続的削減を図る。	22年度比 生産量原単位1.0%削減 0.154CO ₂ t/t⇒0.123CO ₂ t/t
廃棄物	1. 産業廃棄物の外部排出を減少し地球環境改善に貢献する。 2. 廃棄物の分別徹底と適正処理を100%維持管理する。	22年度比 生産量原単位1.0%削減 4.78kg/t⇒4.73kg/t 適正処理100%
環境保全	1. 調達先、製品のグリーン度を調査して、積水化学のグリーン調達基準に沿った原材料、部品を調達する。	グリーン購入率 95.0%以上
自然保護	1. 事業所ビオトープ等を活用し、地域住民と共に自然保護活動を実施する。 2. 事業所ビオトープを活用し、定期的な手入れ作業の実施により、次世代育成と地域社会への貢献を推進する。	「生き物観察会」等 年1回以上 「ビオトープ池の清掃・外来種除去」等 年4回以上
化学物質	1. PRTR法に基づく「第1種指定化学物質」の排出量移動量の管理と低減。	22年度比 生産量原単位1%削減



ビオトープのあゆみ

ビオトープ活動を通じて環境保護活動の意識高揚を図っています。

2000年9月
工場敷地内北東部



2001年2月
クスノキ、ツルヨシ植樹
フナ、ハヤ放流



2002年2月
千代田東部小学校
総合学習で来園



2001年7月
廃棄電柱で
手作りの橋架け



2001年4月
ビオトープ開園式、一般開放
記念植樹51本



2002年8月
ヒクイナの孵化(4羽)



『郷土と自然に親しむ会』(2005/8/20)
千代田町民グループ「郷土と自然に
親しむ会」メンバーと九積ビオトープ委員
が夏の自然体験イベントを開催しました。



2003年1月
千代田町緑の少年団と植樹
千代田中部小学校の校長先生も参加



2019年8月
佐賀大学生
ビオトープ見学

2005年6月
除草作業



現在、アラカシ・スズメノエンドウ
など100種類を超える植物や、
ヒバリ・コチドリなど30数種の野
鳥たちが集うようになりました。



2007年5月
池の清掃

「水と緑と」ビオトープ物語

2005年12月に、ビオトープ開設
から現在に至るまでの活動や、
植樹祭等イベントが記録された
DVDが完成しました。
当社の環境保全の取り組みの
一環であるビオトープ創造活動の
PRとして、来社されたお客様や
工場見学時に上映しています。



老朽化したフェンスを
改修しました。



オオムラサキの幼虫を
飼育予定です。



社会・SDGs 貢献活動報告書

1. 所属カンパニー名／会社名／事業所名

環境LL/九州積水工業株式会社

2. 活動名（タイトルや内容）

『古着deワクチン』活動を開催

3. 活動日時

単日開催 年 月 日 曜日 ~

複数日開催 2023 年 7 月 1 日 ~ 8 月 22 日

※活動に費やした時間（トータルで） 5 時間

4. 活動場所（場所名、所在地）* 都道府県名もご記入ください

九州積水工業株式会社 食堂

5. 参加者（内容・人数）

①従業員	4	人
②従業員の家族		人（内、子どもは 人）
③地域の参加者		人（
④その他	1	人）← 団体名などを記入

合計 5 人 ← 記入不要（自動で計算されます）

6. 活動内容（レポート）・700字以内でご記入ください

前回2021年7月に実施以来今回2回目となります。前回ご協力いただいた方からまだ古着があるので実施してほしいと要望があり今回実施することとなりました。当初回収期間を7/1～7/31までとしていましたが期限近くなって数名の方からまだ持てたいので回収期間をもう少し延ばしてほしいとのことで、8/22まで延長しました。当社では食堂内の飲料自動販売機の横に回収袋を置いており、比較的多くの人の目に止まったみたいで今回、回収袋4袋になりました。回収の場所、方法、期間などで回収結果が変わるので、より多くの方にたくさん持って来ていただけるように工夫していきます。今後は目的を理解していただきより多くの方が参加しやすいSDGs活動を企画して参ります。

7. 活動の様子（写真）

- ・活動の様子がわかる写真（4～6点程度）を以下の枠内に自由に貼り付けてください。
- ※オリジナルデータ（jpg. 500KB～1MB程度）は、内容が解る名前を付けて、別途メールで送付してください。

・案内文	・回収状況
○ 動画やURLのリンク先:	

社会・SDGs 貢献活動報告書

1. 所属カンパニー名／会社名／事業所名

環境LL/九州積水工業株式会社

2. 活動名（タイトルや内容）

使用済み切手等の寄付（寄付先：公益財団法人日本郵趣協会）

3. 活動分野（該当する分野に○印をつけてください（複数ある場合は、メインの分野に◎印をつけてください）

【環境】	【次世代】	【地域コミュニティ】	【その他】	・その他の内容をご記入ください
	○	○		→

4. 活動日時

単日開催 年 月 日 曜日 ～

複数日開催 2022 年 10 月 1 日 ～ 2023 年 3 月 10 日

※活動に費やした時間（トータルで） 20 時間

5. 活動場所（場所名、所在地）＊都道府県名もご記入ください

・同社

6. 参加者（内容・人数）

①従業員	4	人	
②従業員の家族		人	（内、子どもは 人）
③地域の参加者		人	（ ） ← 団体名などを記入
④その他		人	（ ）

合計 4 人 ← 記入不要（自動で計算されます）

7. 活動内容（レポート）＊700字以内でご記入ください

気軽にできるSDGs活動として始めた使用済み切手の回収
 今回公益財団法人日本郵趣協会さまへ使用済み切手を寄付しました。最初は一人で始めた活動で、
 ペーパーレス化が進み郵便の量も減っている状況でどれくらい集まるか不安でしたが、10月3日に
 全社朝礼で使用済み切手の回収協力を呼びかけたところ、郵便が多く届く購買係・経理係の方に
 回収を協力していただき半年かけて約1,000枚（260g）集めることができました。各部署
 の協力を得てなんとか形になる量を集めることができました。今後は活動を広く知っていただき取引
 先
 や関係者に広げていきたいです。
 「手紙を書こう！プロジェクト」は、郵便切手文化の発展向上に資するとともに潤いある社会形成
 に貢献するため、公益財団法人日本郵趣協会が主催する社会貢献活動です。

492

8. 活動の様子（写真）

- 活動の様子がわかる写真（4～6点程度）を以下の枠内に自由に貼り付けてください。
- ※オリジナルデータ（jpg, 500KB～1MB程度）は、内容が解る名前を付けて、別途メールで送付してください。

・回収箱



・手紙を書こうプロジェクト



・集まった使用済み切手



○ 写真の説明：

回収箱（左上）、集まった切手（左下）、手紙を書こうプロジェクト（右側）

1. 所属カンパニー名／会社名／事業所名

環境LL/九州積水工業株式会社

2. 活動名（タイトルや内容）

ビオトープで自然観察会を開催（地元小学校の課外授業）

3. 活動分野 ・該当する分野に○印をつけてください（複数ある場合は、メインの分野に◎印をつけてください）

【環 境】	【次世代】	【地域コミュニティ】	その他	・その他の内容をご記入ください
○	○	○		→

4. 活動日時

単日開催 2023 年 10 月 20 日 金 曜日 9:30 ～ 11:30

複数日開催 年 月 日 ～ 月 日

※活動に費やした時間（トータルで） 4 時間

5. 活動場所（場所名、所在地） *都道府県名もご記入ください

九州積水工業ビオトープ

6. 参加者（内容・人数）

①従業員	7	人	
②従業員の家族		人	（内、子どもは 人）
③地域の参加者	28	人	（千代田東部小学校2年生26名、教員2名）← 団体名
④その他	3	人	（観察会講師、佐賀県森林整備課さま）

合計 38 人 ← 記入不要（自動で計算されます）

7. 活動内容（レポート） ・700字以内でご記入ください

10月20日（金）、千代田東部小学校2年生を招いて、工場の敷地内にあるビオトープで生きものを捕まえ、観察・スケッチを行うビオトープ「ふるりの森」生きもの観察会を開催しました。

参加者は小学校28名（児童26名、教員2名）と当社7名、その他3名（合計38名）。当日の天気予報は雨のち晴れ降水確率70%と昨年に続き雨天時間開催かと思われましたが、なんとか持ちこたえて曇りでした。前日に雨の日プログラムに変更し、無事観察会を実施することができました。昨年同様、佐賀県森林整備課様から県が取り組む「森川海人」Projectを紹介され、つづいて昆虫博士の川那部先生から昆虫についての種類や役割などクイズを交えての説明がありました。そして、子供たちは5つのグループに分かれてビオトープへ移動。網とカゴを持って、芝生の上や枯れ木の下などみんなで一生懸命昆虫を探しました。その結果、バッタやキリギリス、コオロギなどのいろいろな生きものを捕まえることが出来ました。その後捕まえた昆虫の観察・スケッチタイム、脚の数や羽根の枚数など細かく観察してスケッチしました。途中佐賀県の環境保全事業のマスコットキャラクター「森川海人（もりかわかいと）くん」も登場し子供たちは大喜びでした。

659

8. 活動の様子（写真）

・活動の様子がわかる写真（4～6点程度）を以下の枠内に自由に貼り付けてください。

※オリジナルデータ（jpg. 500KB～1MB程度）は、内容が解る名前を付けて、別途メールで送付してください。



○ 写真の説明： 昆虫の説明（左上）、生きもの探し（上中央、右上、左下）、スケッチ（下中央）、講師の説明（右下）

1. 所属カンパニー名／会社名／事業所名

環境LL九州支店/九州セキスイハイム工業株式会社/セキスイハイム九州株式会社/九州積水工業株式会社

2. 活動名（タイトルや内容）

2023年度「積水化学の森・うきは」森林保全活動

3. 活動分野 ・該当する分野に○印をつけてください（複数ある場合は、メインの分野に◎印をつけてください）

【環境】	【次世代】	【地域コミュニティ】	その他	・その他の内容をご記入ください
○	○	○		→

4. 活動日時

単日開催 2023 年 10 月 21 日 土 曜日 9:30 ～ 14:30

複数日開催 年 月 日 ～ 月 日

※活動に費やした時間（トータルで） 5 時間

5. 活動場所（場所名、所在地） * 都道府県名もご記入ください

福岡県うきは市浮羽町新川つつら棚田周辺

6. 参加者（内容・人数）

①従業員	23	人	
②従業員の家族	19	人	（内、子ども 3 人）
③地域の参加者		人	（ ）← 団体名などを記入
④その他		人	（うきは市うきはブランド推進課、浮羽森林組合（合計には含まない）

合計 42 人 ← 記入不要（自動で計算されます）

7. 活動内容（レポート） ・700字以内でご記入ください

コロナ禍明けの2018以来の「積水化学の森・うきは」森林保全活動、前日の悪天候の懸念はありましたが、当日は好天に恵まれ無事に実施となりました。

積水化学工業(株)環境LL九州支店と九州グループ5社（九州セキスイハイム工業(株)、セキスイハイム九州(株)、九州セキスイ商事インフラテック(株)、積水リース(株)福岡支店、九州積水工業(株)、）従業員とご家族併せて42名が参加。

開会式ではうきは市長 高木典雄様より歓迎のご挨拶をいただき、九州積水工業(株) 久保喜弘取締役の開会挨拶から始まりました。今回は以前植樹した木の周辺の下草刈りとチップ敷きを予定していましたが、チップの手配が間に合わずに下草刈りのみ作業となりました。休憩中に配られた地元菓子店「キチココ」さんの変わり種ドラ焼きは作業で疲れた体に染み渡る◎のおしさでした。

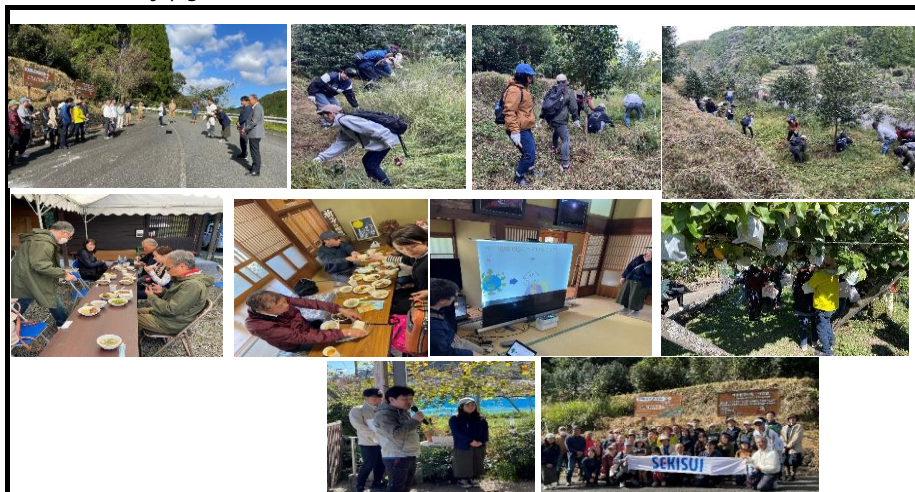
恒例のつつら山荘での昼食は、普段食べる機会の少ない素朴な田舎料理バイキング、つい食べ過ぎてしまうほど楽しい食事になりました。また今回昼食時に環境教育として森林保全に関するビデオを視聴してもらいました。昼食後は果樹園「中島農園」さんで梨狩りを体験。梨狩りのシーズン終わりに

653

8. 活動の様子（写真）

・活動の様子がわかる写真（4～6点程度）を以下の枠内に自由に貼り付けてください。

※オリジナルデータ（jpg. 500KB～1MB程度）は、内容が解る名前を付けて、別途メールで送付してください。



○ 写真の説明：

開会式（左上）、下草刈り（上右3枚）、昼食（左中央2枚）、環境教育（中央）、梨狩り（右中央）、閉会式（左下）、閉会式（右下）

1. 所属カンパニー名／会社名／事業所名

環境LL/九州積水工業株式会社

2. 活動名（タイトルや内容）

虹の松原クリーンアップ大作戦に参加

3. 活動分野 ・該当する分野に○印をつけてください（複数ある場合は、メインの分野に◎印をつけてください）

【環 境】	【次世代】	【地域コミュニティ】	その他	・その他の内容をご記入ください
◎		○		→

4. 活動日時

単日開催 2024 年 3 月 31 日 曜日 10:00 ～ 11:30

複数日開催 年 月 日 ～ 月 日

※活動に費やした時間（トータルで） 1.5 時間

5. 活動場所（場所名、所在地） * 都道府県名もご記入ください

佐賀県唐津市浜玉町浜崎（浜崎森林浴の森公園）

6. 参加者（内容・人数）

①従業員	5	人
②従業員の家族	2	人 （内、子ども 1 人）
③地域の参加者		人 （ ） ← 団体名などを記入
④その他	3	人 ← （積水化学工業環境LL九州支店、九州セキスイ商事イン

合計 10 人 ← 記入不要（自動で計算されます）

7. 活動内容（レポート） ・700字以内でご記入ください

年度末の3/31（日）虹の松原クリーンアップ大作戦に初めて参加しました。当日は黄砂の影響で曇りの中天候はまずまずでした。NPO法人唐津環境防災推進機構さんと高校生のボランティアの方が枯れ枝拾い、松葉かき、除草作業を一つ一つ丁寧に教えていただきながら安全に作業を進めることができました。

「虹の松原」は日本三大松原のひとつで、国の特別名勝、約400年前の江戸時代に、防風・防潮のため海岸線の砂丘にクロマツを植林したのが始まりとされています。昭和30年頃までは、松葉や枯れ枝などを燃料として利用し、「白砂青松（はくさせいしょう）」と呼ばれた白い砂浜と青い松原の風景は、人が手を入れることで、人と自然が共生した姿を保ってきました。しかし、家庭の燃料が薪や炭から石油やガスなどに変わり、松葉などが人々の生活に必要とされなくなり、人々が松原に入って松葉や枝を集めなくなった結果、松葉が林内にたまり、土が肥えて、草や松ではない広葉樹が生い茂り、暗い森に変貌しつつあります。ところによってはゴミが投棄され、また外国から入ってきた小さな線虫により「松枯れ」被害が発生し、守ってきた松原が少しずつ失われてきています。松原がなくなると、潮風や

621

8. 活動の様子（写真）

・活動の様子がわかる写真（4～6点程度）を以下の枠内に自由に貼り付けてください。

※オリジナルデータ（jpg. 500KB～1MB程度）は、内容が解る名前を付けて、別途メールで送付してください。

・清掃活動開会式	・清掃活動の様子
	
・収集した枝	・集合写真
	
○ 写真の説明： 清掃活動開会式（左上）、清掃活動の様子（右上）、収集した枝（左下）、集合写真（右下）	